



翠巒 Mini Press 第178号 2022/11/22

編集・発行 高崎高校新聞部

史上初、8連覇に向けて 実長の心境

高前定期戦は来年で77回を迎える。さらに高前は、現在7連覇中であり来年勝利すると史上初の8連覇となるため、大きな期待がかかっている。歴史を塗り替えるような年に新しく定期戦実行委員長（以下、実長）となった清水惺也くん（2の2）に話を聞いた。

「新たな実長としての意気込みは。まず、第76回定期戦が無事に終わり、勝利を収められたことにとっても安心している。しかし、長い時間その安心感に浸っているわけにはいかず、来年の定期戦に向けて気持ちを切り替える必要がある。今

の心境を簡単に言えば、「勝つ以外に道はない」といったところである。私には高前を勝利へ導くという使命がある。高前の屈強な健児達をまとめあげ、必ず前高に勝利するため、今は闘志を燃やしている。実長としてどのよう

に高前を引っ張っていくか。実長としてやるべきことはたくさんあるが、「全てをまとめる」というのがもっとも大事なのだと思う。高前生全員の心を紅く染め、1人1人が力の限り戦う。そのような高前であるように、まずは私が本気で戦う姿を見せていきたいと思う。

「8連覇に向けて。8連覇という新記録に我々は挑むことになるが、正直私もかなりプレッシャーを感じている。定期戦始まって以来の新記録となると、実に3万人以上の期待がかかっている」と捉えることもできる。しかし、私は全員が8連覇というものには固執しすぎる必要はないのではないかと考える。プ

レッシュャーが大きすぎて少し困るところがあると思う。8連覇を各々がどう捉えるにしても、高前生1人1人が目の前にある1勝を勝ち取るため、自分の力を振り絞る。そんな定期戦を行なえるようにしていこうと思う。

「今年の定期戦を振り返り、来年に生かしたいことは。今年は何しに、一般対抗では前高の勝利を許してしまっただけで、部対抗で大幅にリードしてくれたおかげで、今回の定期戦は辛うじて勝利を取ることができた。このことから、高前が前高に勝利するためには、一般対抗

で必ず勝つという心が鍵になる。今年には特に、我々が例年得点源としていた団体競技で敗北してしまったのがかなり痛手だった。来年は一般対抗の団体戦でリベンジを果たすとともに、全競技勝利する勢いで戦いたいと思う。

「定期戦の勝利に向けて高前生へのメッセージ。今年は何しに比べて、練習が諸事情でできなかったり、高前内で少く揉め事があったり、身内での問題が少し多かった印象がある。8連覇に向けて、我々にそんなことをしている余裕は微塵もないだろう。ぜひ皆さんには、同じ

陣営で戦う者同士、お互いを高めあい、勝利を高前定期戦の歴史に刻もう。伝統をさらに築き上げる絶好の機会だ。高前健児達の本気を、燃え上がる闘志を、富士のような偉大さを、究めた道を、長く栄えた伝統を、前高に知らしめようではないか。

来年の定期戦では、前高もこれまで以上に練習を重ね、本気で勝ちにくるだろう。そこで我々高前生は8連覇を成し遂げるため、清水くんや他の実行委員の指導の下、前高以上に練習を重ねる必要がある。高前の勝利のため、我々は精進していかなければならない。

（樋口）

10月26日の放課後に本校の図書室で校内ビブリオバトルが行われた。ビブリオバトルとは、バトルが順に自分のおすすめの本を紹介していき、聞き手がその紹介を聞いて一番読みたかった本に投票し、勝者を決めるものである。去年は吉野貴翔くん（3の5）が優勝し、2連覇を遂げた。

このビブリオバトルの優勝者は11月5日に開催される県大会に出場できる。今年は1、2年生合わせて6人が参加し、その中で、

優勝した大澤くん（1の5）が優勝した。大澤秀康くん（1の5）が優勝した。優勝できて嬉しい。この本は、二重にも三重にもかけられたトラップが痛快で、それらから必死に逃げようとする主人公たちの掛け合いがとても面白い。そんな本の魅力が少しでも伝わるように、とにかく楽しそうに語り、多くの人の印象に残るようにしようを意識していた。普段手に取らないジャンルの本と出会うことができたので、幸せな時間になった。

機会があったら来年も参加し、吉野くんと同じく2連覇を目指したい」と語った。

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

（樋口）

校内ビブリオバトル 本を「魅せる」



「死亡フラグが立ちました！（著・七尾与史）」という本を紹介した大澤秀康くん（1の5）が優勝した。

優勝した大澤くん（1の5）が優勝した。優勝できて嬉しい。この本は、二重にも三重にもかけられたトラップが痛快で、それらから必死に逃げようとする主人公たちの掛け合いがとても面白い。そんな本の魅力が少しでも伝わるように、とにかく楽しそうに語り、多くの人の印象に残るようにしようを意識していた。普段手に取らないジャンルの本と出会うことができたので、幸せな時間になった。

機会があったら来年も参加し、吉野くんと同じく2連覇を目指したい」と語った。

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「もともと本の魅力を伝え、誰もが興味を持ってもらえるようなスピーチができるように頑張りたい。貴重な機会なので、とても楽しみにしたい」と述べた。（樋口）

また、県大会への意気込みを聞くと、「も
